

2学期始業式 学校長の話より

今日は、2学期のスタートに当たり、「2学期をどのように頑張るか」ということで1つお話を紹介します。結構知られているお話ですので、聞いたことがある、知っているという人も少なくないと思います。こういうお話です。

昔むかし、ヨーロッパのある村のお話です。何十年もその村で先生をやった方が、先生を辞めて自分の故郷に帰ることになりました。村人たちは、大人も子どもも、とてもお世話になった先生なので、何か贈り物をしようと話し合いました。ところが、その村は大変貧しい村で、先生にお金をかけて贈り物をするような余裕はどの家にもありません。そこで村人たちは、村の名産であるぶどう酒（ワイン）を贈ろうと決めたのでした。村の広場の真ん中には、大きな樽（たる）が置かれました。それぞれの家庭では、自分の家で作ったワインを少しずつ持ち寄って樽に入れます。多くの方々が参加し、樽はワインで一杯になり、それを先生に贈りました。先生は村人たちからの思いがけない贈り物に大変喜び、感謝の言葉を大勢の人々に告げ、村人たちや子どもたちと別れるのはつらいけれど、大好きなワインをもらったので、故郷に帰っても楽しみでした。故郷に帰って二、三日してから先生は、「さて、いただいたワインを味わってみることとするか。」と樽からワインをグラスに注ぎました。しかしそのワインを口にしたら途端、先生の表情が、「期待と喜び」から「驚きと悲しみ」へと、みるみる変わりました。なぜかというと、グラスに注がれた液体は、どう味わっても「水」だったのでした。

どんなお話だったか、理解できましたか？つまり、村人たちは、一人ひとりが「自分一人ぐらい、ワインでなく、水を入れたところで、大きな樽の中のワインの味が変わる訳はない。水を入れたって分かりはしない。」と考えたのですね。これがたくさんの村人の中のたった一人二人の行動だったら、おそらく先生が注いだ液体は「ワイン」だったでしょう。しかし残念なことに、村人のほとんどの人がそのように考えてしまったのですね。つまり樽に注がれていたのは、初めからワインではなく、水だったのでした。逆に一人二人ぐらいはワインを入れた人もいたかもしれませんが……。

「自分一人だけなら」「自分一人ぐらいなら」という考え方を全員が持ったとしたら、どんなことになってしまうのかを考えさせてくれる話として、現代にも読み継ぎ伝え継がれているお話です。

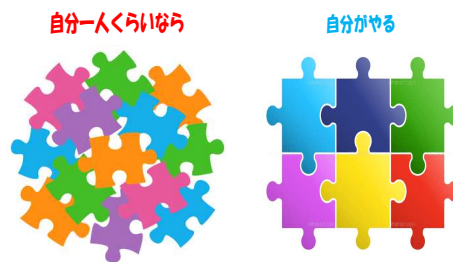
「自分一人ぐらい」の反対の位置にある言葉は「自分がやらなきゃ(誰がやる)」でしょうか。

例えば授業の場面	誰かが言ってくれる	⇒	自分から言いましょう
	誰かが聞いていてくれる	⇒	自分が聞きましょう

「自分の思いを伝える。人の思いをしっかりと聞く。」お互いがお互いにしっかりと分かり合える理解しあえる関係が、集団で生活していく上ではとても大切です。人任せはダメ。

みんながつながって、楽しい学校にするために、話すこと聞くことを頑張っていきましょう。

※今回の始業式も新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで行いました。



マリコワイナリー周辺の自然学習とクララの苗木植栽体験

8月23日（金）には、香川県からマリコワイナリーの自然について研究されている農研機構 西日本農業研究センターの楠本良延先生においでいただき、4年生が、マリコワイナリー周辺の環境学習を行い、塩川小の中庭にクララの植栽を行いました。今回の学習は、キリンビバレッジ協賛で行っている活動なので、キリンの方に熱中症予防のお話もしていただきました。楠本先生のお話によると、マリコワイナリー周辺の草原には、珍しい生き物が多くいて、素晴らしい環境であること、希少種8種を含む289種の植物が生息し、日本でも貴重なオオルリシジミという蝶をマリコワイナリー周辺に呼びよせるために、クララというオオルリシジミのえさになる植物を植える活動を進めていること、豊かな自然環境が



人間の手入れで維持されていることを教えていただきました。その後、実施に楠本先生と一緒にマリコワイナリーに出かけ植物の観察を行いました。子どもたちは次々と気になる植物の名前の由来や増え方などを聞いていました。観察をした後には、学校に戻り事前に香川から運んでくださった15センチほどのクララの苗36本ほどを中庭の畑に植えました。この苗は今年度5年生が春先にマリコワイナリー周辺に移植したように、30センチほどまでに育つ来春に掘り出してブドウ畑周辺に移植します。地域の恵まれた自然を再認識し、環境保全を自ら行っていきたいという気持ちをもつことが出来た1日でした。

非違行為防止研修を行いました

8月18日（木）に、長野県警察スクールサポーター志摩正巳先生を講師にお迎えして、職員の非違行為防止研修を行いました。この会には、PTA会長柳沢さんにもご参加をいただきました。事例をもとに、想像力のスイッチを入れてほしい。1手2手先のことを考えてやる。かわいいそんな子どもを出さないようにしたい。子どもたち、家族を守ろうとお話をしていただきました。



職員一同身の引き締まる思いです。今一度自分の心の中に甘えはないか同僚と互いに批正し合いながら努めてまいります。今後も、校内での非違行為防止研修を積み重ねていきます。

9月の家族参観日はオンラインで行います

新型コロナ感染レベルが6、医療非常事態宣言が出ている状態です。9月17日（土）の土曜参観の実施について検討した結果、子どもたちのクロームブックを使ってオンラインで授業参観を行うことにしました。初めての試みですので、事前に接続テストをして臨みたいと思いますが、カメラを固定で行いますので、お子さんの様子を細かく伝えることはできないかもしれませんがご理解、ご協力をお願いします。

なお、災害時引き渡し訓練は、予定通りに保護者の皆様にお迎えに来ていただいております。車が校庭周辺で込み合うことが予想されます。交通事故等にお気をつけいただき、安全に引き渡しを行いたいと思います。よろしくお願いいたします。